

### ○青木優人

現場見学会を終えて思ったことは、寒かったということです。夏は暑く、冬は寒く厳しい環境の中で仕事をしているということがどれだけ凄いことなのかが分かった。

建築また土木関係の仕事には3Kという「きつい、汚い、危険」という言葉がありました。しかし、最近では新3Kという「給料、休日、希望」という悪いイメージから良いイメージへ向かっているということもあり、興味がありました。土木の仕事もAIを使用し効率よくなり、また安全安心にもなっていました。このことにより、ベテランの人がいなくても精度の良い仕事ができるようになって人数不足解消に繋がっていくのではないかと思います。

実際にドローンを飛ばしたり、タイヤローラーに乗せてもらったり良い体験ができました。このことを活かし、これからの進路決定に役立てていきたいです。

### ○青木良矢

現場見学会を終えて、僕は2つ感じたことがあります。1つ目は、仕事が効率良く出来るようになってきていることです。近年では、AIやドローン、3Dデータなどの三次元化が利用され、前までの現場と違い効率よく作業が進められています。土木の仕事に慣れていない方からベテランの方まで全ての方が安全にかつ精度良く作業出来る環境になってきていることに驚きました。

2つ目は、現場の方の体力です。体験では、ボルトを締めました。そのボルトを締めるためにはとても重い機械を使用しました。また、現場はとても寒かったですが、現場の方は作業中寒そうなそぶりもしていませんでした。現場で仕事をするには、力や体力が必要だと改めて思いました。

今回は僕たちの見学会のために作業を止めていただき、説明や体験などしてくださいました。その時間で現場は大いに作業が遅れてしまいますが、その時間を削ってくださり教えてくださいましたことは感謝しています。この体験を将来の進路決定に活かしていけるようにしたいです。

### ○井岡祐斗

現場見学会を終えて、2つのことを感じました。1つ目は建築・土木の仕事を増やしていきたいという想いをとても感じられることが出来ました。建築・土木関係の仕事には3Kという「きつい、汚い、危険」という言葉があります。しかし、最近では新3Kという「給料、休日、希望」というマイナスイメージからプラスイメージへと変化させようとしていることを実感できました。AIを使うなど、効率をよくなり、ベテランの方から初めて作業する方まで全ての方が簡単にかつ安全に作業を出来るようになってきていたからです。

2つ目は作業を止めてまで現場の説明や体験などをしてくださいました現場の皆様への感謝です。1時間ほど作業を止めただけでも1日完成が遅れることもあるにも関わらず、その時間を削って教えてくださいましたことに本当に感謝しています。

自分も今回の現場見学会でたくさんの大事なことを学ぶことができました。これからの進路決定の参考にしていきたいと思います。

### ○池尻丈威

今回の現場見学会に参加して、合計で4カ所の現場を見学しました。最初に那賀川の浸水被害を

防ぐための築堤事業に行きました。この地区ではたくさんの浸水被害があるそうで学校の2階の床上まで浸水するそうです。そういった被害を少なくするために働いているのはすごいと思いました。

次に和食・土佐地区の浸水対策の現場を見に行きました。この現場では橋を造っていました。その他にボルトの締め付け体験などもあり楽しかったです。

次に道路の施設工事をしている現場に行きました。道路を造るだけでもあれだけ大変だということを知りました。道路はどこにでもあり、その全ての道路が時間をかけて造られたものだと思うとすごいと思いました。

最後に津波が来たときに必要となる堤防の工事現場を見に行きました。いつ来るか分からない津波の被害を少しでも抑えることができるのは嬉しいです。

### ○池尻文威

私の家の近く的那賀川大橋の現場では、関係者しか入ることができない場所に入り、ガードレールのボルト締めを体験することができたのが嬉しかったです。私が中学生の時に工事が始まり、長い間工事をしているのを知り大変な仕事なのだと感じました。

他にもいろいろな現場に行かせてもらいました。寒い中作業員の方達のすごく温かい笑顔で僕たちを迎えてもらい、丁寧に説明してくれました。建設関係の仕事に入りたかったのでいい勉強になりました。

自分が橋などを造ってから周りの人に「造ってくれてありがとう」などの言葉をかけてもらったから、建設に生き甲斐を感じられると思います。また造り終わってからの達成感もすごいと思います。私も早く建設関係の仕事に就き働きたいです。

### ○岡田陸空

最初は那賀川堤防外工事の見学をしました。今では完成図面の三次元化ができ、すごいと思いました。3Dデータの映像も見ることができ良い経験となりました。ICT油圧ショベルを見ました。GPSを屈指し掘りすぎたりしない技術は初心者でもできると聞き便利だと思いました。

次は阿南道路中島の見学をしました。施工箇所の調査・測量をして平面図を作成するといっていました。防護柵工・標識工・区画練工などいろいろしているところでした。

体験は支柱をボルト締めするものでした。やりかたが分からなかったので現場の人に教えてもらいやり遂げることができました。将来役に立つことを聞くことができ良かったです。

### ○岡本琉偉弥

今回の現場見学会でいろいろなことを学びました。まず、最初にICTの機械の事について話を聞き、最新のドローンを操縦させてもらいました。特に印象に残ったのはICTのバックホーを見学です。そこでは、斜面をミス無く整えることができていました。以前までは熟練の人しかできなかった作業が、新人でも精度良く操縦できるところに魅力を感じました。他にもボルトを締める機械は重く力がある仕事だと感じました。那賀川大橋は、普段通る場所で貴重な体験になりました。

今回学んだことを進路決定に有効に活用したいと思います。

### ○片川大雅

今回は現場見学会で、堤防や道路工事などの4カ所の見学をしました。

那賀川の見学では、ドローンの操縦などを体験したりしました。隣接工事での体験は、機械でのボルトの締め付けをしました。締め付けるときに勢いが強くて驚きました。那賀川町中島の安全工事の現場では、防護柵の勉強とラチェットでのナットの締め付けの体験をしました。締め付ける時には、力が必要で力の無い私は大変でした。富岡港海岸では、津波が来る前の地震による堤防の沈下について勉強しました。堤防の沈下することまで計算しているので土木工事は奥が深いなと思いました。

現場見学会で、主に初めと最後の堤防の見学が印象に残っています。私も水害などから皆の生活を守りたいと思いました。これからの学校生活を見直して建設業に就職できるように頑張りたいです。

### ○清水 慧

現場見学会を通してたくさんを知ることができました。

富岡建設さんでは、ロードローラーに乗せていただき、色でどれだけ締め固めることができているかがわかり非常に分かりやすく驚きました。また、バックホーでは、先端で斜面を固めており設計図以上に掘ることがなく、絶対に失敗しないことにも驚きました。ドローンは、とても高くまで上昇できると聞きました。

那賀川大橋では、普段立ち入ることができないところに入ることができ、橋のボルト締めを体験することができて嬉しかったです。八千代組さんでは、防潮堤の補強をしているところを見ることができました。L1津波が0~100年単位で起こり、L2津波が100年単位で来ると教えていただきました。防潮堤にはたくさんの工夫が施されており非常に興味を持つことができました。

どこの現場も寒い中、優しく、詳しく、丁寧に教えてくださりありがとうございました。学んだことを活かして建設業の仕事に就きたいと思いました。

### ○河野敬樹

現場見学会に行ってきたたくさんを学びました。その中でも特に感じたことは建築・土木関係の仕事に興味・関心を持ちたいという想いです。AIの導入、新3Kなどたくさんの取り組みをしていることがすごいと思いました。堤防の現場では実際にドローンを操縦したりICTで制御されたバックホーとロードローラーに乗ったりして、建築・土木への興味がとても持つことができました。

その他の現場では、実際にボルト締めをしたり塗装の厚さを測ったりしてとても良い経験ができたと思います。ボルトを締めたものはそのまま実際に使われると聞いたので強い気持ちを込めて締めました。いつか私もこの橋が完成して自分がその上を車で走る時には、自分が締めたことを思い出し凄いことを体験することができたと思うことでしょう。

建築・土木の仕事は働き手不足だと聞きました。自分たちがこの仕事を担っていき、1人でも多く増やせるように努力していきたいです。

### ○佐々木春虎

現場見学会に行って建設業の大変さや大切さを知りました。学校で学んでいないことを体験させてもらったり、実際の現場を見ることができたりし良い勉強になりました。

特に印象に残った現場は、阿南道路中島安全施設工事の現場です。初めてボルト締めを体験させ

ていただいたことや、自分もよく通る道路だったので印象に残っています。また、道路が以前からどのようにして造られているのか興味があり、現場での丁寧な説明を聞きより興味が湧きました。この体験や見学を活かして今後の自分の就職や進路決定をしていきたいと思いました。

### ○柴山 麗

私は、もともと建設会社に就職したいと思っていました。今回の見学でその想いはさらに強くなりました。今回の見学会で記憶に残ったのは学校では体験したこのとのないことを体験できたことです。特に大きなインパクトドライバを使用してボルトを締めたことです。普段したことがなかった作業であったため緊張しました。思っていたより重くとても驚きました。しかし、簡単に締めることができとてもやりやすかったです。

もう一つは、那賀川の橋のボルト締めで最初はとても難しかったが、現場の人たちが優しく教えてくださり楽しく作業することができました。

また、建設の仕事が私たちの生活に欠かせない仕事だということもわかりました。津波から守る堤防や道路などを造ってくれていると知り、建設業の人たちには本当に感謝しています。いつか自分もその一員となれるように学校生活を充実させていきたいです。

### ○立石龍之介

現場体験学習を終えて感じたことがあります。まず一つ目は、どの現場の人達も他の人達のことを想って働いてくれていることです。堤防や道路など僕たちが日頃から何気なく通ったり、見たりしているものを造っている建設会社の人達を見て、「とてもかっこいい」、「楽しそう」、「やってみよう」と思いました。

もう一つは、建設業はやりがいのある仕事だと感じました。最後に行った現場では、近々くると心配されている南海トラフ地震の津波対策でした。この人達のおかげで助かる命があると思うと、やりがいのある仕事だと思いました。

自分は今回の現場体験学習を終え、たくさんのことを学びました。この学んだことをこれからの授業で活かし、進路決定の参考にしていきたいです。

### ○中津陽太

私は建設という仕事は、どのような仕事をするのか分かりませんでした。この機会にどのような仕事をするのか知れると思うとワクワクしていました。そして、この見学会で感じたことは3つあります。

1つ目は、子どもの時に、バックホーやクレーンなどの働く車に興味を持っていました。実際に動いているバックホーを目の前で見てより興味を持ちました。2つ目は、建設の仕事をしている人は怖い人が多くいるイメージでした。しかし、現場の人の丁寧な説明して下さったり、わからない作業を教えていただいたりして皆優しい人ばかりで安心しました。3つ目は、現場見学会の説明の中でわからないことが多くあり、勉強をもっとしていかなければならないと思いました。

### ○林 麗弥

今回の現場見学会は、とても良い体験となりました。特に勉強になったと思うのは、橋の上でのボルトを締める体験です。自分の身の周りにある建造物は全て建設現場で働いている人の手によっ

て地道に造られていることを知るのと同時に、自分たちの生活が支えられていることを知りました。

また、ドローンを操縦したり、ロードローラーに乗ったりして、自分の就職を決めていく上でとても役に立つものばかりでした。

私は高校卒業後に建設会社で働こうと思っています。この見学会に参加して、もっと勉強してこうという気持ちになりました。自分の身を守ってくれたり、生活を便利にしてくれている建造物に感謝していきたいと思いました。

### ○福島暖空

現場見学会を通して気付いたことは、建設というものはとても大事な役目を果たしているなと思いました。普段は遠くからしか見ていなかった建設現場が今はいつもとは違って見えます。授業で土木のことを学んでいて動画を見ることがありますが、実際に見る方がよりいい勉強になりました。

建設という職業は小学生の頃から憧れているものです。人の生活を助ける、支えるということは本当にやりがいがあります。しかし、建設業の労働者数がかかなり減っているのは驚きました。そしてこの現場見学会で自分たちが建設業界に求められているのだと感じました。

普段できあがっている建築物や道路が人の手によって造られたと思うと本当にすごいと思います。建設業は力が必要な仕事だと思っていましたが、建設機械の発展により正確に作業できるのはすごいと思いました。本当に貴重な体験でした。

### ○増田雪斗

現場見学会を終えて印象に残ったことは2つあります。1つ目は、驚敷で体験したボルトを締める作業と電磁式膜厚計で塗装の厚さを測定したことです。電磁式膜厚計を当てるだけで塗装の厚さを測定できることに大変驚きました。

2つ目は、加茂谷の法面成形です。油圧ショベルで作業をする際にICTで三次元データを利用し、正確に動いている油圧ショベルを見て驚きました。ショベルの中にパソコンがあり自動アシストしてくれている技術を見て、このような最先端技術を使ったら作業のスピードが早くなると思いました。これからもそのような技術を普及させてほしいと思いました。

### ○松永奨真

見学をして、さらに建設に興味を持ちました。特に印象に残ったのは、富岡建設さんのICT建設機械による施工です。ICT建設機械でのアーム操作した際に、バケットが設計面より掘り込まないように自動でブームが上昇したり、バケットの先端が設計面に達すると自動で停止したりするのを見て、ICTを搭載することによってより正確にでき、時間短縮できることを知りました。

このような建設機械が現場に増えていけばいいと思いました。今日の現場見学ではとてもいい経験ができました。ありがとうございました。

### ○三浦亮太

私は、現場見学に行くまでは、危険、きつい、重機は人間の目視、職人の技術が必要だと思っていました。しかし、実際に現場を見てみると、GPS、電話の通信回線を利用して制御し、一定の深さで掘ることができるバックホーや締め固め回数が色で分かるタイヤローラーなど、ICTを利用した重機で作業をしていました。安全に作業することができ、工期も短くすることができると思

いました。また、女性用トイレも設置していて、女性も働きやすい職場づくりもしており、イメージとはかなり違いました。

私は、今回の現場見学会に参加することができて大変良かったと思います。きつい、危険、男性の職場と思っていた建設業の概念が変わったからです。私は音響や照明の仕事をしたと思っていますが、土木の仕事もしてみたいと思います。

### ○村田昂汰

私の祖父が大工をしていて、その仕事を幼い頃に見ていたこともあり、大工になりたいと思っています。今回の現場見学会で見たものは、昔見たものとは違うものでした。

現場見学で行った橋は、中学生の時に通っていたこともあり建設の様子を少しだけ見たことがありました。今回見学に行き長い期間工事を行っていることに驚き、建設業の大変さを知りました。しかし、それだけ長い期間かけて完成させたときの達成感は私が思っているよりもはるかに凄いものかもしれないと期待にもなりました。貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

### ○山本啓介

建設現場見学会でいろいろ学びました。最初に行った那賀川右岸加堤防外工事を見てすごいと思いました。ICT 油圧ショベルのモニターを動かしたら正確に計ることができたので驚きました。

次に行ったのは、那賀川・小川端工区那賀・和食橋梁上部工事現場でした。ここでは、大雨などによる床上浸水が多い地区のため、その対策として浸水する水位に対しての堤防を造っていました。また、将来的にはより高い堤防へと段階的な整備を図ると聞いて、より安全・安心な生活ができるようになるのですばらしいと思いました。

次に行ったのは、阿南道路中島安全施設工事現場でした。ここは前からとても気になっていた所です。防護柵の種類が色々あって、この橋ではボックスビームを設置していました。ボックスビームの設置作業を体験しました。ボルトで固定するとき、腕の力が必要でした。とても大変な作業だと思いました。最後に富岡港海岸阿南・辰巳防潮堤耐震工事現場でした。ここでは南海トラフ地震での津波対策として、堤防を造る作業をしていました。

どの現場でも測量がとても大切だということが分かりました。将来、自分もこのような工事現場で皆のために働きたいと思いました。

### ○湯浅圭太

今日は、いろいろな現場見学をさせてもらいました。初めに行った加茂谷の所では、乗って見たかった重機に乗せてもらいました。ICT も使っていてモニターなどもあり、操作が難しそうと思っていたけど、現場の人が ICT によって掘りすぎないようにされたり、どのくらい均せているかが分かるようにしたりしていて、初心者でも扱いやすいことが分かりました。

また他の場所では、インパクトやラチェットも使わせていただきました。インパクトは思ったよりも重く振動も大きくて驚きました。R と L があり、右回り左回りがあるのだと思いました。また僕が一番驚いたのは、スプリングワッシャーです。ワッシャーの戻る力を使ってゆるみを防ぐようにしているというものでした。

今日はたくさんの事を知れてとてもいい経験になりました。この学習したことを、これからの授業や将来に生かしたいと思いました。

## ○湯浅翔太

僕は現場見学会に行って驚いたことが2つあります。

1つ目は、塗装膜厚測定で場所が数センチメートルしか変わらないのにものすごく厚さが違ってびっくりしました。最初、測定する前は違っていても10ぐらいしか違ってないと思っていたけど測ると50ぐらい違いがあったのでとてもびっくりしました。

2つ目は、ナットを締めた後に合いマークというしるしをつけて点検するとき、ゆるんでいるかを確認できることにびっくりしました。他にも笹子トンネルの事故から5年に1度点検するようになって少しでも事故など人がなくならないようになってほしいと思いました。

最後に、現場見学会で見たり聞いたりしたことを忘れずに、これからの授業や生活に生かしていきたいです。

## ○横手凌雅

僕は現場見学会に行って、建設業は昔よりも仕事がしやすく、若者でも一から最後まで仕事ができるのでとてもやりがいがあることを知り、行く前よりもより興味が深まりました。

印象に残ったことは、驚敷のボルト締めと那賀川のボルト締め・締め外しです。

驚敷での見学は、けがをしているため見るだけだったのですが、インパクトドライバの使用方を指導して頂くことで、皆簡単にボルト締めができてかっこいいと思いました。那賀川の見学は風が強くて寒かったが、ラチェットでボルト締め・締め外しをして体が熱くなったことを覚えています。とても長い橋のボルト締め・締め外しをすることは根気が必要で大変だと思うけど、だからこそやりがいがあって重要な作業だと思いました。

僕は高校を卒業したら就職をしたいと思っているので、現場見学会に行くことができるととても良かったです。ありがとうございました。

## ○脇田優成

今回はこのような体験が出来るととても良い勉強になりました。

加茂谷の現場では、ICTを使ってショベルカーやタイヤローラーなどを使っていて、分かりやすく迅速に作業することができるようになっていて、これなら初めてでも分かりやすく良いなと思いました。人工衛星と受信する箱のような物は1つ何千万円もすると聞いて驚きました。

驚敷の現場では橋を造っており、体験で初めて機械を使ってナットを締めるときに機械が重く、たくさん締めるのはとても大変だと思いました。

辰巳の橋では、ナットを工具で締める体験をしました。小さい工具を使ったことはありましたが、今回ほど大きいのは初めてで興奮しました。合マークをつけてネジの緩みを確認できるのはよく考えられており、良い方法だと思いました。橋の隙間から下を見ると、とても高かったのでこんなにも高いところで作業をすると怖いと思いました。そんなところで僕たちのために作ってくれていることはとてもありがたいことだと思いました。

辰巳の工業団地では、津波の被害を少しでも小さくするように堤防を造っていました。堤防高を求めるには、津波の水位と堤防の沈下量まで計算しなければならないことに驚きました。沈下量の中でも、それぞれ異なるものなのに3つすべてをどうやって計算するのも気になりました。

今回の見学でとても良い体験や話を聞くことが出来ました。これらの学んだことをこれからの授業や生活、進路決定に生かしていきたいです。